

商学部「卒業研究」評価ルーブリック

学士力の項目	評価項目	評価指標					得点
		5点	4点	3点	2点	1点	
知識・技能	①表題の設定	問題の所在を明確にする表題を適切に設定できている。	概ね適した表題が付与されている。	表題が要を得ている。	研究内容に照らしてやや不適切な表題が付与されている。	研究内容に照らして全く不適切な表題が付与されている。	
	②章別構成	章別構成が極めて適切である。	章別構成が概ね適切である。	章別構成がある程度適切である。	章別構成が適切でない部分がある。	章別構成が不適切である。	
	③文章表記	段落設定の誤りや誤字脱字が、全くない。	段落設定の誤りや誤字脱字が、ほとんどない。	段落設定の誤りや誤字脱字が、数か所認められる。	段落設定の誤りや誤字脱字が、多数認められる。	段落設定の誤りや誤字脱字が、非常に多く認められる。	
	④引用・参考文献	引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などが全て適切である。	引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などが概ね適切である。	引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などに誤りがいくつか認められる。	引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などに不適切な箇所がある。	引用方法、引用箇所と文献との対応、表記方法などが不適切である。	
	⑤形式性	分量・体裁など、卒業研究として認められる形式を十分に満たしている。	分量・体裁など、卒業研究として認められる形式を概ね満たしている。	分量・体裁など、卒業研究として認められる形式をある程度満たしている。	分量・体裁など、卒業研究として認められる形式に不十分な点がある。	分量・体裁など、卒業研究として認められる形式を満たしていない。	
	⑥総合性	商学部での学修を総合した考察が十分になされている。	商学部での学修を総合した考察が概ねなされている。	商学部での学修を総合した考察がある程度なされている。	商学部での学修を総合した考察としてはやや不十分である。	商学部での学修を総合した考察がなされていない。	
	⑦研究倫理	研究者への倫理的配慮が適切に行われている。	研究者への倫理的配慮が概ね適切に行われている。	研究者への倫理的配慮がある程度適切に行われている。	研究者への倫理的配慮がやや不足している。	研究者への倫理的配慮が全く不足している。	
課題の発見と解決	⑧問題意識	問題意識が極めて明確である。	問題意識が明確である。	問題意識がある程度明確である。	問題意識がやや不明確である。	問題意識が不明確である。	
	⑨視野	地域や国内の課題を踏まえ、グローバルな視点からも考察することができている。	地域や国内の課題を踏まえ、グローバルな視点からも考察することが概ねできている。	地域や国内の課題を踏まえ、グローバルな視点からも考察することがある程度できている。	地域や国内の課題を踏まえ、グローバルな視点からも考察することがあまりできていない。	地域や国内の課題を踏まえ、グローバルな視点からも考察することができていない。	
	⑩理解	問題の所在、要因や影響等の考察が十分になされている。	問題の所在、要因や影響等の考察が概ねなされている。	問題の所在、要因や影響等の考察がある程度なされている。	問題の所在、要因や影響等の考察に不十分な点がある。	問題の所在、要因や影響等の考察がなされていない。	
	⑪分析	多角的な分析が十分に行われている。	多角的な分析が概ね行われている。	多角的な分析がある程度行われている。	多角的な分析があまり行われていない。	多角的な分析が行われていない。	
	⑫データや資料の収集・活用	論旨を展開するために適切なデータや資料を十分に収集・活用できている。	論旨を展開するために適切なデータや資料を概ね収集・活用できている。	論旨を展開するために適切なデータや資料をある程度収集・活用できている。	論旨を展開するために適切なデータや資料をあまり収集・活用できていない。	論旨を展開するために適切なデータや資料を収集・活用できていない。	
	⑬表現力	統一された文体で論理的展開が適切に行われている。	統一された文体で論理的展開が概ね適切に行われている。	統一された文体で論理的展開がある程度適切に行われている。	統一された文体で論理的展開があまり適切に行われていない。	統一された文体で論理的展開が適切に行われていない。	
	⑭解決	結論を明確に呈示することができる。	結論を概ね呈示することができる。	結論をある程度呈示することができる。	結論が曖昧である。	結論を呈示できていない。	

学士力の項目	評価項目	評価指標					得点
		5点	4点	3点	2点	1点	
主体性と協働・協創	⑮主体性	卒業研究に十分に主体的に取り組んだ。	卒業研究に概ね主体的に取り組んだ。	卒業研究にある程度主体的に取り組んだ。	卒業研究にあまり主体的に取り組んでいない。	卒業研究に主体的に取り組んでいない。	
	⑯当事者性	テーマを自身の問題として捉え、自分の考えをまとめることができている。	テーマを自身の問題として捉え、自分の考えをまとめることが概ねできている。	テーマを自身の問題として捉え、自分の考えをまとめることがある程度できている。	テーマを自身の問題として捉え、自分の考えをまとめることがあまりできていない。	テーマを自身の問題として捉え、自分の考えをまとめることができていない。	
	⑰自律性	卒業研究の完成に十分計画的に取り組んだ。	卒業研究の完成に概ね計画的に取り組んだ。	卒業研究の完成にある程度計画的に取り組んだ。	卒業研究の完成にあまり計画的に取り組んでいない。	卒業研究の完成に計画的に取り組んでいない。	
	⑱協働・協創	他者の卒業研究作成に積極的に関わることができた。	他者の卒業研究作成に概ね関わることができた。	他者の卒業研究作成に積極的にある程度関わることができた。	他者の卒業研究作成に積極的にあまり関わることができなかった。	他者の卒業研究作成に積極的に全く関わることができなかった。	
	⑲成長性(教員評価)	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長が大いに認められる。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長がかなり認められる。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長がある程度認められる。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長があまり認められない。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長が全く認められない。	
	⑳成長性(学生自己評価)	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長の実感が十分に得られた。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長の実感がかなり得られた。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長の実感がある程度実感を得られた。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長の実感があまり得られなかった。	取り組みを通して、興味・関心の拡大等の成長の実感が全く得られなかった。	
合計点(100点満点)							